
Tricky

環

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Tricky

【著者名】

ZZマーク

【作者名】 環

【あらすじ】

気まぐれ短編。

ハイブリースト×ハイブリースト（名前表記無し）

いつもクールな彼が動搖したら、どうなるのだ？

それは単純な、好奇心。

『リオリート』

同じギルドの支援型ハイブリースト。

支援型のくせに誰かとつるんでるのをあまり見かけない。

ギルド内の評判は『怖そ�で近寄り難い』と『一匹狼でカッコイイ』の一択。

笑顔だつて滅多に見ない、たまに笑つてると思えば悪そうな顔して
るし（笑）

そんなリオリートが動搖…まあちょっとビックリするとこ見たいな、
なんて思つて。

溜まり場の裏に呼びつけてみた。

「リオ」

「ひ、こり笑つて、彼の顔すれすれの壁にグランクロスを突き立てる。

「…何？」

…さすがにこれべらじこじや動じないか。

「俺、キリ何かし…」

言こ終わらなこつひに微動だにしないリオワードの襟首を掴んで。引き寄せ、唇を奪ひ。

多分ほんの僅かな瞬間。

だけど何だか長く感じたのは、せつとあたしも緊張してたから。

唇を離してもリオワードは何も言葉を発しない。

はあ、と溜め息をつき、一步下がつて見据える。

「ちよっとつオが動搖するとい、見てみたかったんだけどねー」

苦笑いしていると、不意に右手を引き寄せられた。

「じへるる

「え?」

真っ直ぐに私を見つめる、リオリートの黒い瞳。

「動搖、してゐる」やつぱりつオリートは引き寄せた私の右手を、自分の胸に当てる。

右手に伝わる鼓動。
確かに早い。

「つ木……」

何か言おうとした私の顔は、今度はリオワードに奪われていた。

(後書き)

『仮まぐれ過ぎました』

（田口潤）・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8857m/>

Tricky

2010年10月21日23時12分発行